

東京 2020 大会 シティ キャスト研修の実施について

1 シティ キャスト研修の概要

種類	実施期間	回数・時間	対象者
共通研修	令和元年 10 月 4 日～ 令和 2 年 2 月頃	各 1 回 約 3 時間	面談・説明会に参加された方 31,597 名 ※面談・説明会の実施結果は裏面「参考」参照 ※共通研修、役割別研修では E ラーニングも実施
役割別研修	令和 2 年 4 月～		
配置場所別研修	令和 2 年 6 月～		
リーダーシップ 研修	令和 2 年 4 月～		面談・説明会に参加されたリーダー経験者等 のうちリーダーの役割を担っていただける方

※希望する参加者の方には、託児サービスの提供や手話通訳による説明を実施（予約制）

2 研修の内容等

(1) 共通研修

ア 実施回数・会場

回数： 土日・夜間含め週 5 日程度、のべ約 100 日（180 回）実施

※参加者は都合の良い日程を選んで参加

会場： 国立オリンピック記念青少年総合センター

※フィールド キャストの共通研修と同じ会場

イ 主な内容

大会のボランティアとして必要な次の基本的情報を提供

- ・オリンピック・パラリンピックの歴史・意義
- ・東京 2020 大会の概要（開催日程、競技、会場など）
- ・大会のボランティアとしての心構え
- ・ダイバーシティへの理解（車いす使用者や視覚障害者のサポート方法など）
- ・参加者同士のチームワークを高めるためのグループワーク
- ・暑さ対策などの健康管理や活動上のルール など

ウ ボランティア同士の交流・連携を図る取組

- ・会場内にシティキャスト、フィールドキャストが交流できるスペースを設置
- ・シティキャスト、フィールドキャストを対象とした交流会の開催（月 1 回程度開催）

(2) 役割別・配置場所別研修

役割・配置場所ごとに必要な次の情報を提供

- ・東京の観光・交通（観光スポット、歴史、アクセス等）
- ・ラストマイル、ライブサイト（概要、機能、設備等）
- ・役割別・場所別の活動方法（観光・交通案内、ラストマイルにおける観客案内等）
- ・様々な方のサポート方法（障害者、高齢者、外国人等）
- ・緊急時の対応（緊急連絡先、避難場所、AED の使い方・設置場所等）
- ・外国語によるコミュニケーション（簡単な挨拶、翻訳アプリ等）
- ・暑さ対策 など

※実施日程・会場は今後決定

(3) リーダーシップ研修

リーダーとして必要な次の情報を提供

- ・メンバーとの効果的なコミュニケーション
- ・多様なメンバーへの配慮（年齢、性別、障害の有無等）
- ・ボランティアのリーダー像 など

※実施日程・会場は今後決定

<参考> シティ キャスト面談・説明会の実施状況

○ 実施目的

選考の場としてではなく、シティ キャスト応募者等のご意向やご都合、配慮・支援を必要とする内容等を丁寧にお伺いする場として実施

○ 参加者数

31,597 名

※都内区市町村からの推薦者（3,557 名）、東京都観光ボランティア（1,204 名）、ラグビーワールドカップ 2019TM 日本大会において都内で活動したボランティア（1,069 名）、を含む（一部複数に該当する方あり）。